

第131回神奈川大学日本常民文化研究所研究会



華僑の描き方・描かれ方

— 横浜浮世絵・開化絵を中心に —

中林 広一 氏

神奈川大学日本常民文化研究所 所員
国際日本学部 准教授

日時：2022年6月15日(水) 17:30～19:00

会場：Zoomミーティング 【開場：17:15】



申込方法：ご参加希望の方は、右のQRコードよりお申込みください。IDとパスコードが自動返信メールにて送信されます。

主催：神奈川大学日本常民文化研究所

華僑の描き方・描かれ方

— 横浜浮世絵・開化絵を中心に —

横浜浮世絵や開化絵は幕末から明治期にかけて版行された浮世絵の一種であり、横浜や東京に関わる人・文物を題材としたものである。そして、これらの版画にはしばしば中国人の姿が描かれる。ただ、これらは貴重な絵画史料である反面、史料としての限界もある。本報告では横浜浮世絵や開化絵を史料的観点から捉え、その限界と可能性について検討を行っていききたい。